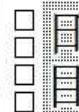


八月山行、初日と二、三日目

報告



霞ヶ城公園出発 2日、6時25分、口口さんは見送りに来た

【 初日・二日】
天候安定しない日が続く
中、晴天での山行初日とな
りました。霞ヶ城公園から
転の中型バスで十一名の出

発となりました。二本松 I
Cから東北道・磐越道・北
陸道・上信越道経由し、そ
の途中阿賀野川SA、黒崎
SAで休憩し、予定通り十
二時十分善光寺へ到着しま
る

中、晴天での山行初日とな
りました。霞ヶ城公園から
転の中型バスで十一名の出

発となりました。二本松 I
Cから東北道・磐越道・北
陸道・上信越道経由し、そ
の途中阿賀野川SA、黒崎
SAで休憩し、予定通り十
二時十分善光寺へ到着しま
る

箕輪山・清掃登山

告



箕輪山頂、これから下山、11時28分

撮影していたら、班の皆さん
なに置いて行かれてしまつ
た。結局参加者の最後を一
人でとぼとぼ降りた。

さて当日の行動、八時十
九分、横向登山口通過。途
中最初の整備道路との交差

の、なんか人選が変だ。変だと言つたが、既に配つてしまつてゐるから、とそれまで。結局は登りは何とか先頭努めだが、降りは途中で□□さんに言われた、石楠花の「花^{ハナ}（假称）」

番奥に入れた。受付やつて、
参加者名簿貰つた。驚いた
が、当会は一班、リーダー
は□□さん、白河山岳会、
浅川山岳会は二班、リーダー
は□□□。□□□□□さん
など知り合いはいるもの

山口市を発着して、
連続の相撲大会が
小五人で開催され、
精良代の勝利が決定。
山口から一、七人で参じたが、那賀國安芸長崎時
の貴賤山田(山代)を復す。の裏面など、新規に口
ながら山口の酒類を
ナウイルス感防所と
熱田神宮に配達して
がん重の相撲で、
平吉吉政会長は(二)

2022 08 24



石垣岩下の崩落、箕輪山頂から



右から□□さん、□□さん、□□□さん

石楠花の「一花ごろ」示さうとした。石楠花の葉に親指の先くらいの一白い「ふ」付けて、下山中なので撮影だけして降っていたら、また見付けた。ここには大きい物や赤いものもあって粒も多い。只事でないので降るの止めて本格的に撮影始めた。□□□さん以外の班員は気にもせず、どんどん降って行った。リーダーは失業状態だ。場所確認のため

さんから、
石楠花の、花こぶ（仮称）
場所、北緯37度38分56秒971
東經140度16分40秒339

ト警梯のお風呂に入る、服が脱げない、汗びっしょりで、下着までベタベタなのだ。何とか脱いで、タオルを持って、入口の「上がり湯」浴びて先ずは露天風呂へ、温泉場のお風呂、とても深いので首迄しつかり滑かれれる。これが効くのだ。楽になつたので、館内の風呂に戻つて頭洗つたりして、こんどは□□さんと一緒に露天風呂に行く。疲れはすつかり抜けとても樂になつた。館内で戦前の温泉成分表や昭和三十年代の、此処の案内図見付けた。カメ

備道路との交差点で口さんと会う。足不具合だと、言つて、休んで居た。一緒に降り始めたが、歩き方おかしくなつていて口さんにも置いて行かれてしまつた。登山口着十三時四十九分、「花ごぶ」調べ含めて、二時間十一分。決して遅くはない、県岳連のメンバーが恐ろしく早いだけだ。(駐車場で待つていてくれた)口さんに誘われて、マウン

認め始めた。□□□さんはも呆れてか、降ってしまった。位置確認し終わって廻り見ただが誰もいない。県岳連以外の人は時々会うが、岳連関係者は降ってしまったらしい。「置いて行かれた」訳だから急いで降る。しかし置いて行かれた時の焦りで、足はちつとも進まない。スキーめ持帯のGPSで位置確



◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、AXも受信できます。

◆八月五日 福島田報書
欄、□□□さん「花々咲
き誇る庭、楽しみが増え
た」。

ラ持つてきていたの
で、撮影できない。今度入
浴の時は、温泉の人々に断っ
て、時間取つて撮影しよう。